

論

説

赤字国債で歳入不足を埋める予算編成を見るにつけ、故・細谷英一りそな銀行会長の深い危機感を思い出す。負担先送りの政治に「国債暴落のツケが来る。恐ろしくて眠れない」と何度も漏らした。

細谷氏は、国鉄改革の推進役の一人で、民営化後はJR東日本の副社長を務めた。経営危機のりそな銀行



宮武 剛

コロナ対策予算

へ2兆円の公費を投入する際、財界の重鎮・牛尾治朗氏に懇請され未知の金融界へ転じた。筆者は、国鉄の課長補佐時代の細谷氏を取材した縁で、2012年67歳で急逝するまで30年来の交友だった。

なぜ銀行は午後3時に窓

銀行会長が遺した警告

口を閉めるのか。なぜ行員は座り、客を立たせるのか。なぜ女性支店長はいないのか。細谷さんは、社会の常識に欠ける慣行を次々に改善した。

みやたけ・ごう NPO法人福祉
フォーラム・ジャパン副会長、学校
法人・社会医学技術学院理事長

一方、晩年は会うたびに金融恐慌の防止を訴えた。政府の返済計画に不信感をもち、国債は投げ売りされ暴落する。大量の国債を抱える銀行、保険会社等は危機に瀕する。新たな国債は高利を付けないと買

手は見つからず、国家財政1182兆円に達する。国債は破綻し、金利も物価も高騰していく。民1人当たり100万円超の借金だ。もちろんコロナ禍の異常事態に前例のない財政出動で対処するほかに、ただし、この膨大な緊急

支出を削りにくく、財政健全化への目標も立てられないからだ。東日本大震災の「復興特別会計」が見本になる。所得税額2・1%上乘せ(25年間)や法人税額10%上乘せ(2年間)による10兆円余の財源を軸に償還が進められつつある。

政は破綻し、金利も物価も高騰していく。民1人当たり100万円超の借金だ。もちろんコロナ禍の異常事態に前例のない財政出動で対処するほかに、ただし、この膨大な緊急支出を将来的にどう手当

今、新型コロナウイルスの猛威が予算編成や財政再建の常識を粉砕した。すでに2次補正予算で計57・6兆円の全額を赤字国債で調

事だった経済同友会は、コロナ対策の歳出・歳入を別枠にする「特別会計」を提言した。コロナ対策費と社会保障費等の通常分との混在状態のままでは、無駄な支出を削りにくく、財政健全化への目標も立てられないからだ。東日本大震災の「復興特別会計」が見本になる。所得税額2・1%上乘せ(25年間)や法人税額10%上乘せ(2年間)による10兆円余の財源を軸に償還が進められつつある。

(本紙論説委員)